

全国47都道府県

県(都・道・府)章

県花、県鳥、県木

(平成十年版新郵便番号簿より転載)

宮城県

県章

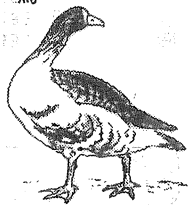


県花



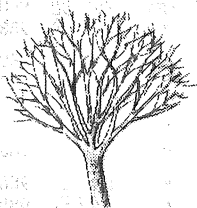
ミヤギノハギ

県鳥



ガン

県木



ケヤキ

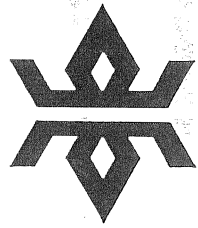
《県章の由来》

県花「ミヤギノハギ」を図案化し、宮城県の「み」を表す。ハギの中央の葉は宮城県の悠久と発展を表し、向って、左の葉は県民の融和と協力、右の葉は郷土愛を力強く表現したものです。

(昭41.7制定)

岩手県

県章



県花



キリノハナ

県鳥



キジ

県木



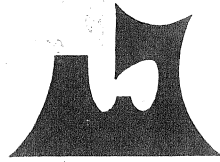
ナンブアカマツ

《県章の由来》

岩手の「岩」の字を図案化。輝かしい岩手の発展と向上を象徴しています。(昭39.11制定・公募作品)

青森県

県章

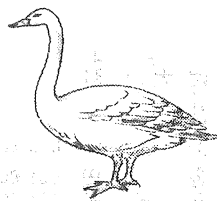


県花



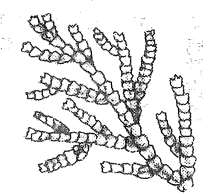
リンゴノハナ

県鳥



ハクチョウ

県木



ヒバ

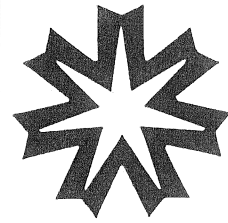
《県章の由来》

青森県の地形を図案化したもので、県章は深緑色で、躍進発展してやまない希望と未来を表わしています。

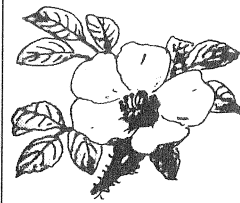
(昭36.1制定)

北海道

道章

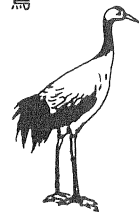


道花



ハマナス

道鳥



タンチョウ

道木




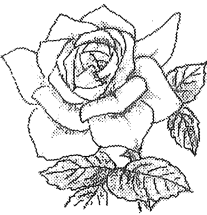

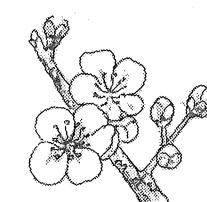
エゾマツ

《道章の由来》

本道開拓使時代の旗章のイメージを七光星として現代的に表現したもので、きびしい風雪に耐え抜いた先人の開拓者精神と、雄々しく伸びる北海道の未来を象徴したものです。

(昭42.5制定)


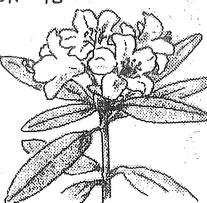
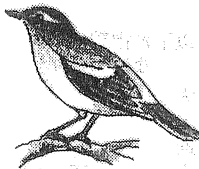
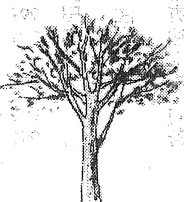
茨城県

<p>県章</p> 
<p>県花</p>  <p>バラ</p>
<p>県鳥</p>  <p>ヒバリ</p>
<p>県木</p>  <p>ウメ</p>

《県章の由来》
 本県の自然や歴史に
 関係の深い「ばら」を
 基本モチーフに、開
 き始めた「ばら」のつ
 ぼみを象徴化し、新し
 い時代を先導する茨
 城県の先進性・創造
 性・躍動・発展を表現
 したものです。

(平3.11制定)



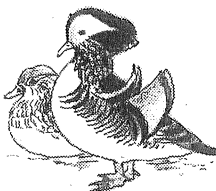

福島県

<p>県章</p> 
<p>県花</p>  <p>ネモトシャクナゲ</p>
<p>県鳥</p>  <p>キビタキ</p>
<p>県木</p>  <p>ケヤキ</p>

《県章の由来》
 福島県の「ふ」の字
 を図案化したもので、
 県民の融和と団結を
 表し、県勢の着実な前
 進を象徴したものです。

(昭43.10制定)

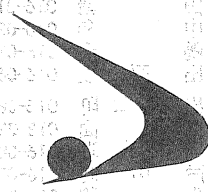



山形県

<p>県章</p> 
<p>県花</p>  <p>ペニバナ</p>
<p>県鳥</p>  <p>オンドリ</p>
<p>県木</p>  <p>サクランボ</p>

《県章の由来》
 山形県の山々と最
 上川の流れを表して
 います。鋭角的な三角
 形は、県の発展を期
 待しています。

(昭51.8制定)

秋田県

<p>県章</p> 
<p>県花</p>  <p>フキノトウ</p>
<p>県鳥</p>  <p>ヤマドリ</p>
<p>県木</p>  <p>スギ</p>

《県章の由来》
 秋田の「ア」の字を
 図案化。県の発展す
 る姿を表わしています。
 (昭34.10制定)

千葉県

<p>県章</p>
<p>県花</p> <p>ナノハナ</p>
<p>県鳥</p> <p>ホオジロ</p>
<p>県木</p> <p>マキ</p>

《県章の由来》
カタカナの「チ」と「ハ」を図案化したものです。
(明42.12制定)

埼玉県

<p>県章</p>
<p>県花</p> <p>サクラソウ</p>
<p>県鳥</p> <p>シラコバト</p>
<p>県木</p> <p>ケヤキ</p>

《県章の由来》
県名の由来である「幸魂(さきみたま)」の「魂」は「玉」の意味でもあり、勾玉(まがたま)は本県にゆかりが深く、県章は勾玉を16個を円形にならべ、「太陽・発展・情熱・力強さ」を表しています。
(昭39.9制定)

群馬県

<p>県章</p>
<p>県花</p> <p>レンゲツツジ</p>
<p>県鳥</p> <p>ヤマドリ</p>
<p>県木</p> <p>クロマツ</p>

《県章の由来》
本県は、たくさんの山に囲まれた県です。県章は、中心に群馬県の「群」の古字を置き、これを、有名な「上毛三山」といわれる赤城山・榛名山・妙義山で囲んだ形になっています。
(大15.10制定)

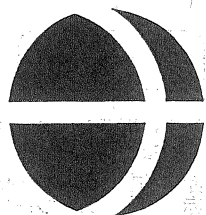
栃木県

<p>県章</p>
<p>県花</p> <p>ヤシオツツジ</p>
<p>県鳥</p> <p>オオルリ</p>
<p>県木</p> <p>トチノキ</p>

《県章の由来》
栃木の「栃」の字を抽象化。エネルギッシュな向上性と躍動感を表現、3本の矢印は「木」の古代文字を引用したものです。
(昭37.12制定・公募作品)

長野県

県章

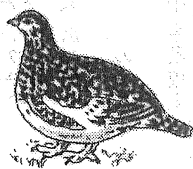


県花



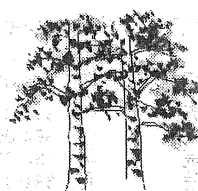
リンドウ

県鳥



ライチョウ

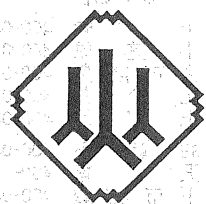
県木



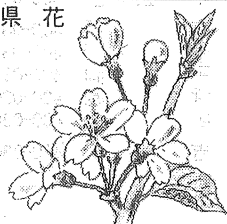
シラカバ

山梨県

県章

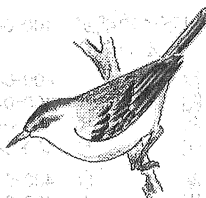


県花



フジザクラ

県鳥



ウグイス

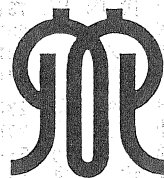
県木



カエデ

神奈川県

県章

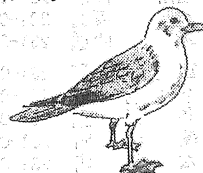


県花



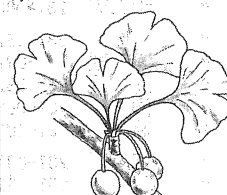
ヤマユリ

県鳥



カモメ

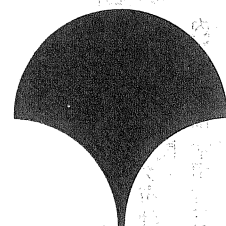
県木



イチョウ

東京都

シンボルマーク

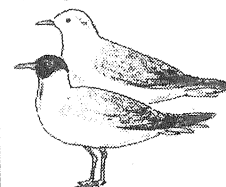


都花



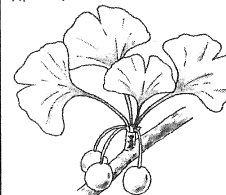
ソメイヨシノ

都鳥



ユリカモメ

都木



イチョウ

《県章の由来》

長野県のかしら文字「ナ」を円形の中に図案化。勇ましく盛んに飛んでいる鳥の姿を作っている。「ナ」の横棒を中心に、山とそれを湖に映す姿を表し、長野県の自然と未来に向かって勢いよく活動し発展する姿を表わしています。

(昭41.12制定・公募作品)

《県章の由来》

周囲は、富士山と武田菱でうるわしい郷土を象徴しており、中の図案は三つの人文字で、山梨の「山」を形どり、和と協力を表現しています。

(昭41.10制定)

《県章の由来》

神奈川県「神」の字を図案化したものです。

(昭23.11制定・県民からの公募作品)

《シンボルマークの由来》

東京のアルファベットの頭文字「T」を中央に秘め、3つの同じ円弧で構成したものであり、色彩は鮮やかな緑色を基本とし、これからの東京都の躍動・繁栄・潤い・安らぎを表現したものです。

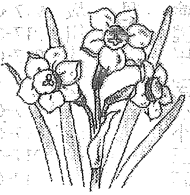
(平成元.6制定)

福井県

県章

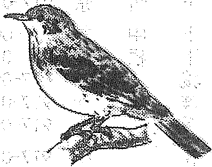


県花



スイセン

県鳥



ツグミ

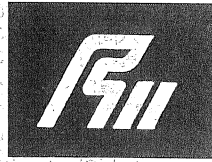
県木



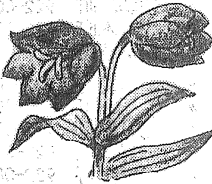
マツ

石川県

県旗



郷土の花



クロユリ

県鳥



イヌワシ

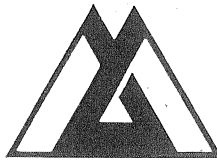
県木



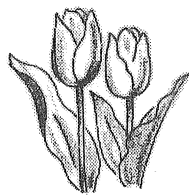
アテ

富山県

県章

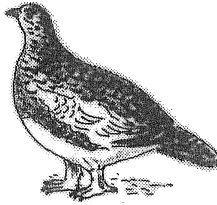


県花



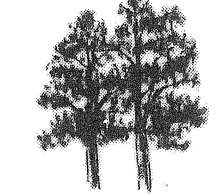
チューリップ

県鳥



ライチョウ

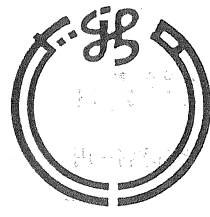
県木



タテヤマスギ

新潟県

県章



県花



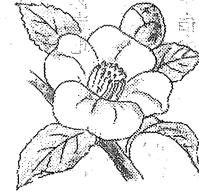
チューリップ

県鳥



トキ

県木



ユキツバキ

《県章の由来》

「フクイ」を図案化し、県勢の発展と調和を表わしています。

(昭27.3制定)

《県旗の由来》

「石川」の文字と石川の地形をデザイン化。地色は青で、日本海と豊かな緑・清い水・澄んだ空気という恵まれた石川の自然環境を表わしています。

(昭47.10制定・公募作品)

《県章の由来》

富山県のシンボルでもある「立山」をモチーフに、その中央に富山県の「と」を配し、躍進富山県のイメージを表わしています。

(昭32.12制定・昭63.12修正)

《県章の由来》

「新」を中心に「ガタ」を円形に模様化。融和と希望を象徴し、県勢の円滑な発展を託したものです。

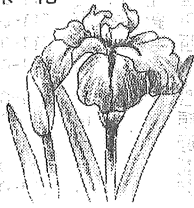
(昭38.8制定)

三重県

県章

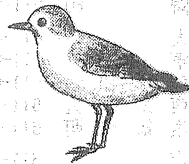


県花



ハナショブ

県鳥



シロチドリ

県木



ジングウスキ

愛知県

県章



県花



カキツバタ

県鳥



コノハズク

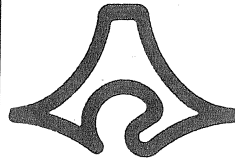
県木



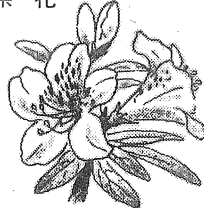
ハナノキ

静岡県

県章



県花



ツツジ

県鳥



サンコウチョウ

県木



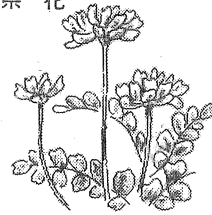
モクセイ

岐阜県

シンボルマーク



県花



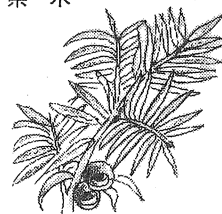
ゲンゲ(レンゲソウ)

県鳥



ライチョウ

県木



イチイ

《県章の由来》

三重県の「み」を力強く雄飛的にデザインしたもので、世界的な真珠養殖を象徴している。字が右上がりになっているのは、県が力強く飛躍することを表わしています。

(昭39.4制定)

《県章の由来》

太平洋に面した県の海外発展性を印象づけ、希望に満ちた旭日波頭を表わし、「あいち」の文字を図案化したものです。

(昭25.7制定・全国からの公募作品)

《県章の由来》

富士山と、静岡県の地形を曲線で構成、県民に親しみやすい、豊かで明るく、住みよい静岡県を表現。力強い前進と団結をデザインしてあります。

(昭43.8制定・県民からの公募作品)

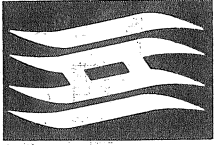
《シンボルマークの由来》

GIFUの「G」をデザインしたものです。点から線、線から面へと力強く広がっていく岐阜県の姿をあらわしています。

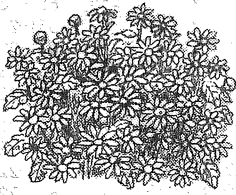
(平3.11制定)

兵庫県

県旗



県花



ノジギク

県鳥



コブノトリ

県木



クス

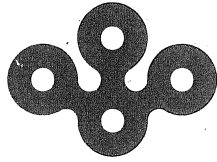
《県旗の由来》

北は日本海、南は太平洋に臨む兵庫県の「兵」の字を、南北の海洋にふさわしく波形に図案化し、力強く躍進する兵庫県の姿を象徴したものです。

(昭39.6制定)

大阪府

府章

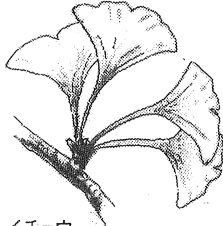


府鳥



モズ

府木



イチヨウ

府花



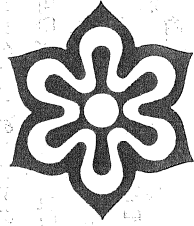
ウメ・サクラソウ

《府章の由来》

太閤さんの「千成びょうたん」を図案化。大阪 (OSAKA) の「O」を基礎にして、希望 (明るく)・繁栄 (豊かで)・調和 (住みよい) を上に伸びる3つの円で表わしています。昭43.6月に(府政100年の日)制定

京都府

府章



府花



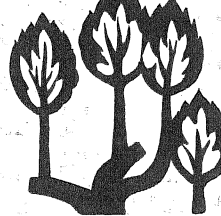
シダレザクラ

府鳥



オオミズナギドリ

府木



キヤマスギ

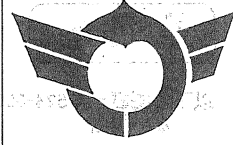
《府章の由来》

六葉形は、古都の格調高い土地柄を表現し、中央に「京」の文字をひとがたに図案化して配し、全体で府民の連帯性とその力の結合を表象しています。

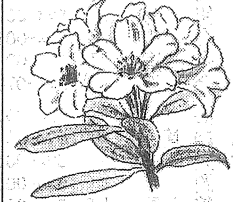
(昭51.11制定・府民からの公募作品)

滋賀県

県章



県花



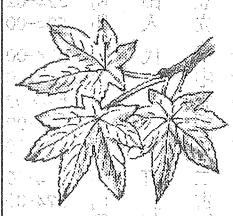
シャクナゲ

県鳥



カイヅブリ

県木



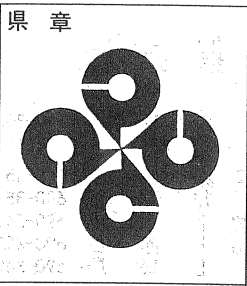
モミジ

《県章の由来》

「シ」と「ガ」を図案化して左右に配し、中央の空間を琵琶湖に形どり、全体の円形と上部の両翼で和と飛躍をシンボライズしたものです。

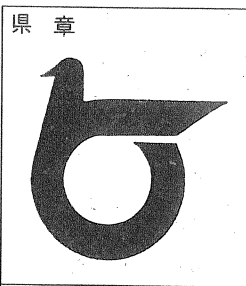
(昭32.5制定)

島根県



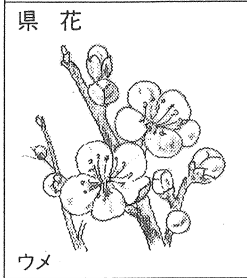
《県章の由来》
 「マ」の字を円い雲形に図案化。四つを組合わせ「シマ」と読む。中心から放射状に四つの円形が伸びているのは、これによって県民の団結を象徴するとともに、県の調和のある発展と躍進の姿を描いています。
 (昭43.11制定)

鳥取県



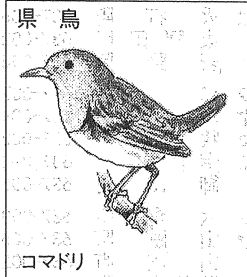
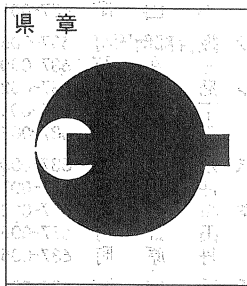
《県章の由来》
 飛しょうしている鳥を鳥取県のかしら文字「と」に造形したもので、「自由と平和」と「鳥取県の明日への発展」を象徴したものです。
 (昭43.10制定)

和歌山県



《県章の由来》
 和歌山県の頭文字「ワ」を簡潔に図案化。県民の和を象徴するもので、末広がりな形は明日に向って果てなく発展する南国紀州を表し、力強くおらかな風格は進取の気性に富む豊かな県民性を表わしています。
 (昭44.4制定・公募作品)

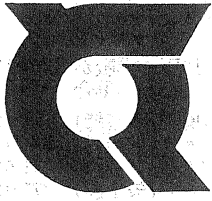
奈良県



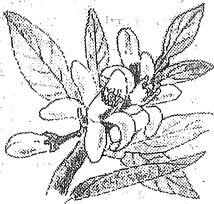
《県章の由来》
 奈良県の「ナ」を簡素を旨として図案化。外円はまほろば大和の自然を、内円は和をもってとおとしとする協和の精神を表徴、円を貫く横一文字の軸は、県政水準の力強い統一とたゆみなき進展をあらわしています。
 (昭43.3制定・全国公募作品)

徳島県

県章

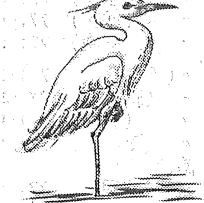


県花



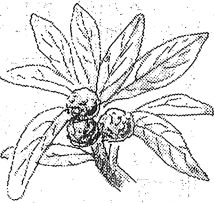
スダチノハナ

県鳥



シラサギ

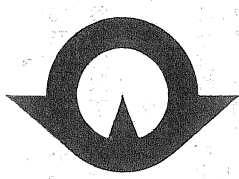
県木



ヤマモモ

山口県

県章



県花



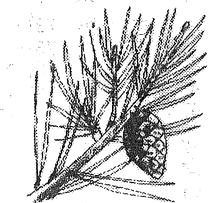
ナツミカンノハナ

県鳥



ナベヅル

県木



アカマツ

広島県

県章



県花



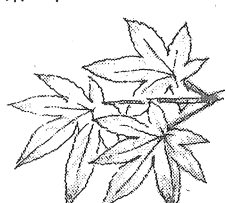
モミジ

県鳥



アビ

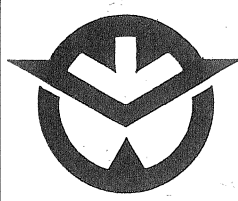
県木



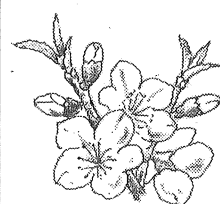
モミジ

岡山県

県章

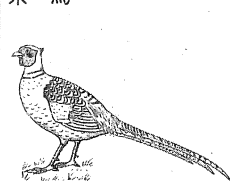


県花



モモノハナ

県鳥



キジ

県木



アカマツ

《県章の由来》

古い歴史と伝統を背景としてさらに近代化の理想に向って逞しく前進しようとしている明るい徳島を象徴するものとして「とくしま」の「とく」を図案化し飛鳥としたもので、融和、団結、雄飛発展の県勢を簡明に表現したものです。

(昭41.3制定・公募作品)

《県章の由来》

「山口」の文字を組み合せ、県民の団結と飛躍を太陽に向ってはばたく鳥にかたちどり、山口県がますます発展するようにとの気持ちを表わしています。

(昭37.9制定)

《県章の由来》

広島県のかしら文字「広」を図案化。円によって県民の和と団結を表現し、その重なりによって、伸びゆく広島県の躍進と発展を象徴したものです。

(昭43.7制定)

《県章の由来》

岡山県の「岡」の文字を円形に図案化し、県民の一致団結と岡山県の将来の飛躍発展を力強く表わしている。

(昭42.11制定・県民からの公募作品)

福岡県

県章
県花
ウメ 県鳥
ウグイス 県木
ツツジ

《県章の由来》
福岡県の発展と県民の融和を梅の花の五弁に図案化したものです。
(昭41.5制定)

高知県

県章
県花
ヤマモモ 県鳥
ヤイロチョウ 県木
ヤナセスギ

《県章の由来》
土佐の「とさ」を印象化したもので、中に高知の「コ」の字を構成し、たてのけん先は向上を、円は平和と協力を表わしたものです。
(昭28.4制定)

愛媛県

県章
県花
ミカンハナ 県鳥
コマドリ 県木
マツ

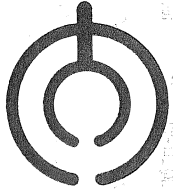

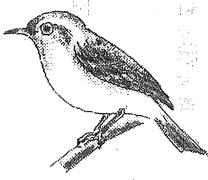

《県章の由来》
瀬戸内海の限りない恩恵と県民の健康で明るい未来を意匠化。赤色(左4本)は太陽とみかんと躍動する愛媛の限りない発展、緑色(中1本)は石鎚山など自然の恵み、青色(右2本)は瀬戸内海の恩恵を表わしています。
(平元.11制定)

香川県

県章
県花
オリーブ 県鳥
ホトギス 県木
オリーブ

《県章の由来》
カガワのかしら文字の「カ」を図案化。県の特徴ある山容と平和のシンボルである県木「オリーブ」の葉を表現したもので、恵まれた風土にはぐくまれて向上発展を続ける香川県を象徴したものです。
(昭52.10制定)

大分県

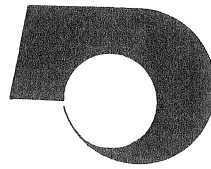

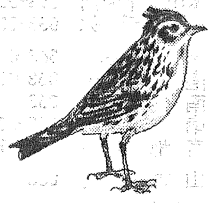
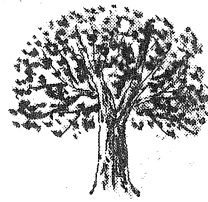
県章 
県花  ブンゴウメ
県鳥  メジロ
県木  ブンゴウメ

《県章の由来》

大分県の「大」の文字を円形に図案化し、県民の融和と県勢の発展を象徴したものです。

(明44.10制定)

熊本県

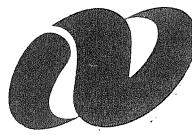

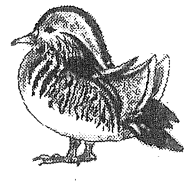

県章 
県花  リンドウ
県鳥  ヒバリ
県木  クスノキ

《県章の由来》

カタカナの「ク」の字を図案化。九州の地形を形どったもので、中央の白い円形は九州の中央に位置する熊本県を象徴。全体の構成としては、伸びゆく県勢をたくましく表現しています。

(昭41.3制定)

長崎県




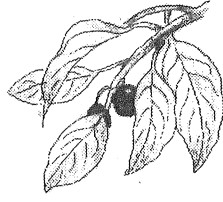
県章 
県花  ウンゼンツツジ(ミヤマキリシマ)
県鳥  オシドリ
県木(林木)  ヒノキ

《県章の由来》

長崎県のかしら文字「N」と平和の象徴であるハトをデフォルメし、未来へ力強く前進する長崎県を表わす。中央の円は地球で、本県の国際性を、色は空色で長崎県の明るい海と空を表わしています。

(平3.4制定)

佐賀県

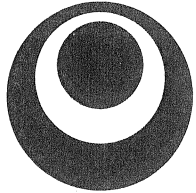



県章 
県花  クスノハナ
県鳥  カササギ
県木  クス

《県章の由来》

円形は協和を意味し、県民が力を合わせ手をつなぎあい、1つの力より3つの力でますます「三カ(さか)」える姿と「三カ(さが)」を表現しています。




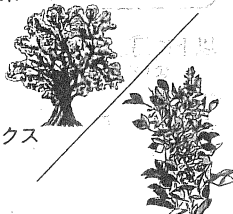
(昭11.4制定)

沖縄県

県章 
県花 
デイゴ 県鳥 
ノグチゲラ 県木 
リュウキュウマツ





《県章の由来》
 外円は海洋を表わし、白い部分はローマ字の「O」で、沖縄を表現するとともに人の和を強調、また円内は動的に、そしてグローバルに伸びゆく県の発展性を象徴し、いわば、海洋・平和・発展のシンボルを意味しています。
 (昭47.10制定)

鹿児島県

シンボルマーク 
鹿児島県
県花 
ミヤマキリシマ 県鳥 
ルリカケス 県木 
クス カイコウス

《シンボルマークの意味》
 鹿児島県の豊かな自然や新たな息吹を象徴する「風」と「波」をモチーフにして、鹿児島県の頭文字「K」を表したデザインで、未来をめざす、飛躍的な鹿児島県を表現しています。
 (平6.3制定)

宮崎県

県章 
県花 
ハマユウ 県鳥 
コンジロヤマドリ 県木 
フェニックス

《県章の由来》
 「日向」の文字、つまり宮崎県をあらわしており、「日」を中心に「向」が三方に伸び、躍進する県勢のすがたを象徴しています。
 (明45.1制定)